

パーキンソン病の社会的認識をたかめよう。

| | | |
|----------------|-----------------------|------------|
| 全国パーキンソン病友の会会報 | 全国パーキンソン病友の会茨城県支部 | |
| | 〒315 茨城県石岡市若松 1-7-5 | |
| 支 部 | ☎02992-2-5580 | NO. 5 |
| だより | (郵便振替口座番号) 宇都宮0-38042 | |
| | (加入者名) | |
| | 全国パーキンソン病友の会茨城県支部 | 発行 |
| | | 1987.10.16 |

目 次

| | | |
|--------------------------------|------|---|
| ◆患者, 家族交流会の挨拶 (支部長 清水昇勝) | 2 | |
| ◆患者, 家族交流会に参加して (アンケートより) NO.1 | 3 | |
| ◆ " " " " | NO.2 | 4 |
| ◆ " " (支部役員, 清水晴美) | NO.3 | 5 |
| ◆患者, 家族交流会収支報告 | 6 | |
| ◆昭和62年度会費納入者(62.10.10 現在) | 7 | |
| ◆昭和62年4~9月活動報告 | 8 | |
| ◆患者, 家族交流会スナップ写真 | 9 | |
| ◆パーキンソン病の概況(役員, 佃国夫氏が文献から抜粋) | 10 | |
| ◆事務局だより | 11 | |
| ◆うた「梅雨」 (大宮町, 中村きみ子) | 裏表紙 | |

患者、家族交流会挨拶

支部長 清水昇勝

本日は、お体の大変のところ皆様方に此処栃木県塩原温泉「ぬりや」にお集まり下さいまして有り難うございました。

私達の患者会には、次の三つ役割があります。①病気を科学的にとらえること。②病気と闘うきがまえを持つこと。③病気を克服する条件を作り出すこと。以上三点は現代医療の課題でも有ると言われています。

ですから、病気を正しく知ること、又自分の体をよく知ることが大切です、そして病気の仕組みを理解しなければなりません。

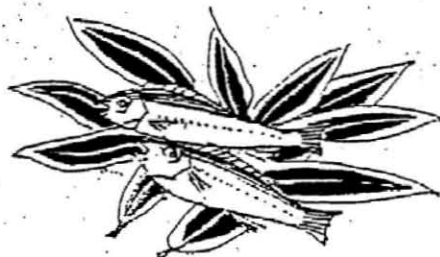
いたずらにも不安ばかり感じたり、悲観してはいけません、病気に立ち向かおうとする勇氣又病気と一諸に生活していこうと言う広い心を持っていなければ病気に負けてしまいます。

そのためにも、医療講演会や相談会等出来る限り出席し会報や出版物等で知りえたり、交流会では出席者同志の情報交換や体験談等話し合いが出来るのでよい機会と私は思います。

どうかこの一泊二日の交流会を有益にお過ごして下さい。

最後に成りましたが、この交流会にあたり役員の方々には、特に軍司副支部長にはこの会を持つために今年の五月ごろから準備に入り色々お世話に成りました事を皆様と一諸にお礼申し上げる次第でございます。

簡単ではありますがご挨拶といたします。



患者、家族交流会に参加して。 NO. 1

★支部長様をはじめ役員の方には大変お世話に成りました。身体の不自由な方の手となり、足しとなって本当にご苦労様でした。

厚くお礼申し上げます。又会員相互の交流が出来、病気に對する認識を深めました。

十年又二十年の長い闘病の会員の体験談と、家族の苦しかった事、涙無くしては聞けませんでした。ご苦労様です。

楽しかった二日間でした、お互いに手を取りあってこの会の発展と病気の回復を祈るのみです。次の交流会を楽しみにして居ります。本当に有り難うございました。

★実に良い計画でした。昭和六十三年も是非企画して下さい。楽しみに致します。

★楽しい旅行が出来まして大変有り難うございました。欠席しようと思って居りましたが、主人の強いすすめもあり参加致しました。

皆様と色々お話しも出来、本当に良かったと思っております。次回も是非参加したいと思っております。

★第二回交流会に参加し皆様方のお元氣な姿を拝見致し大変嬉しくおもいます。

清水様、役員ご一同様のご協力によりまして此の様な楽しい交流会旅行が出来ました事を心から感謝致します。

旅館、其の他の面におきまして、サービスも大変良かったと思っております。宴会ではフラダンスやカラオケ、ジャンケン大会と楽しい一夜を過ごす事が出来ました。

食事も大変おいしかったと思っております。帰りはドライブコース景色の良い所で一生の思い出として残るでしょう。又来年も皆様と共に交流会旅行が出来ます事を祈って居ります。

役員ご一同様本当に有り難うございました。

★普段出無精な私も（特にパーキンソン病になってからその傾向が強い）今度の塩原旅行は前から心の踊るものがあった。予想通り同病の方との交流は大変に楽しかった。千年の知己にあった様に感じられた。役員の方々を謝する次第である。

★今回水戸の大沢様に勧められパーキンソン病友の会に入会出来て温泉の交流会に参加出来大変嬉しく厚くお礼申し上げます。患者同志の話し合いお互いに病気にて若々しい生きぬく事の重大さを感じました。役員の方のご苦労をお礼申し上げます。又こうした備えを行って下さい。

★楽しみにしていた旅も今朝は帰る支度で山を眺めて、美味しい空気を一杯吸って元気で行けます。又の折を楽しみに。

★有意義だったと思うが、料金が安いところを捜し貰ったら参加者がもっとふえるのではないかと思う、役員の方の努力がわかり大変だったと思ひ同謝の気持ちでいっぱいです。

★今回の温泉旅行に際しましては、清水支部長始め、各係の役員の方々には非常に御苦労、御努力下さいまして、心より厚く御礼申し上げます。私共の家内は今回が皆さんとの旅行ははじめてです。ここ五年位は余り外へは出ませんでしたが、今回思いがけなく旅行に参加する気になりまして、家族一同喜んで居る次第です。バスの中では始めは固くなって居ったようですが段々と皆さんととける様子がわかりました。

19日の晩の宴会に先だつての各々の発表会は非常に参考になりました。又清水会長の今後の新業の話もあり、皆さん希望を新たにしました事と思います。

9,500.円と非常に安価な旅行でしたが、昨晚の料理は立派でした。又皆さん楽しくカラオケ生オケ等夜のふけるまで行かれ思い出の多い旅になった事と思います。

再度役員各位のお骨折りに感謝申し上げ、会員の皆様のご今後益々元気に病氣とたたかって下さる事を祈り申し上げます。

★今回は他役員さんにお任せで済みませんでした。前交流会に比し能率よく、まとまりよく気持ちよく出来た感じです。多少残念に思うのは、宴会でのカラオケでも2/3の女性方に積極性なく、静かだったと思います。酒位は多少呑んで大いに朗らかに騒ぐように友の会に出来るか考へる必要を感じます。宿はサービス感良く風呂、食事等良かったとおもいます。どうも御苦労様でした。家内が迷惑を掛けました。

★幹事さん有り難うございました。今回も参加出来たことを心から感謝致します。場所、時間、コース共、OKです。来年を楽しみに頑張ります。

★実にすばらしい交流会でした、参加して本当よかったですとおもいます。患者、家族共々、迷惑をかけるから、迷惑をかけてしまった等という事を一切抜きにして、誰もが、お互い様という気持ちを持ち、助け合いながら、来年も一人でも多くの方が参加される事を希望します。

役員様の方々のお骨折りに深く感謝致します。

★楽しい二日間の旅でした。普段の日は自分の身体の不自由なのを人に見せまいと気づけて、活して居るので、人の前に出るのがおっくうになり引っ込みじあんになります、でもこの会に出ればその様な気を仕えずおられるので嬉しい。来年も是非実行して下さい。

★今年も一緒に交流会に参加出来て嬉しくおもいます。来年も又元気に参加出来ます様頑張りたいと思います。ありがとうございました。

★欠席しようと思って居りましたが参加して本当によかったと思います。楽しい交流会でした。

★ともすれば悲感的になりがちな毎日ですが、皆様のそれなりに一生懸命病氣とたたかっておられる御様子に、勇気づけられました。

楽しい旅行をありがとうございました、今後共宜しくお願い致します。

患者、家族交流会に参加して。

NO. 3

清水晴美

九月の中旬を過ぎて、残暑もやっと鈴風が変わる頃、楽しみしていた患者、家族の交流会が塩原温泉「ぬりや」でもたれました。

何ヶ月も前から役員全員が有意義な会にするため準備にあたりました。一人でも多く参加出来る様努力して下さいました。その甲斐があって、楽しい旅行だったと思います。

ひとつ残念な事は参加した方が、毎日の生活状態の問題点を出し合って（分科会のようにしても）話し合う時間が無かった事でした。それぞれ異なった環境のなか、薬や通院している病院等種々な工夫をし努力しておられる事と思います。そんなお話が聞けたら良かったと思います。

もう来年の交流会の事を思いめぐらして居ります。「ぬりや」の方々も皆様親切に下さり、マイクロバスの運転手さんもととても良くガイドして下さいました。

往復のバスの車窓からはコスモスが咲きみだれ、田んぼでは稲穂が実りの秋をつげ、道の傍らに彼岸花も見られ、家にもぐって居たらこんな秋の自然を見のがすところでした。

紅葉には少し早いものの、これが全山真っ赤に紅葉したらどんなに素晴らしい景色だろうと想いながら帰りました。

又皆様と行ける日を楽しみにして居ります。これから寒さに向いますが、出来るだけ体を動かして自分で自分に号令を掛けリハビリに励んで下さい、桜の咲く頃、総会に全員元気で出席されます様お祈りして居ります。



昭和62年4~9月活動報告

- | | |
|---------------------------------|---------------|
| 62. 4. 5 (日) 第二回支部総会 | 県立県民福祉センター |
| 62. 4.11 (土) 全国役員会オブ出席 | 西久保コミュニティセンター |
| 62. 4.12 (日) 県難連役員会 | 県立県民福祉センター |
| ビルガー病友の会結成大会 | " " |
| 62. 4.13 (月) 県難連総会議案書発送 | |
| 62. 4.16 (木) 第四号支部会報発送 | |
| 62. 4.26 (日) 第五回県難連総会 | 県立県民福祉センター |
| 62. 4.29 (祭) 第一回支部役員会 | " " |
| 62. 5. 1 (金) 石岡市社会福祉協議会、石岡保健所訪問 | |
| 62. 5. 6 (水) 難病医療相談会案内状発送 | |
| 62. 5. 9 (土) 全国役員会オブ出席 | 西久保コミュニティセンター |
| 62. 5.28 (木) 第十一回全国総会 | 東京、南青山会館 |
| 62. 5.29 (金) 第十一回全国東京大会 | 東京都障害者福祉会館 |
| 62. 5.30 (日) 第二回支部役員会 | 県立県民福祉センター |
| 62. 6.10 (水) 兵庫県支部総会祝電打電 | |
| 62. 6.13 (土) 第一回全国役員会 | 霞が関、農林省会議室 |
| 62. 6.14 (日) 第一回県難連役員会 | 県立県民福祉センター |
| 午後、県北方面患者宅訪問 | |
| 62. 6.22 (月) 患者、家族交流会案内状発送 | |
| 62. 6.23 (火) 患者、家族交流会現地地下見 | 栃木県塩原温泉「ぬりや」 |
| 62. 7.25 (土) 県南方面患者宅訪問 | |
| 62. 8. 8 (土) 第二回全国事務局員会議 | 東京都障害者福祉会館 |
| 62. 8.30 (日) 臨時支部役員会 | 東海村、照沼様宅 |
| 62. 9. 2 (木) 県議会請願 | 茨城県庁 |
| 62. 9. 7 (月) 県難病医療相談会案内状発送 | |
| 全国しおりN011発送 | |
| 62. 9. 9 (水) 県衛生部へ挨拶 | 茨城県庁 |
| 62. 9.12 (土) 第三回全国事務局員会議 | 霞が関、農林省会議室 |
| 62. 9.19 (土) 支部役員会、交流会 | 栃木県塩原温泉「ぬりや」 |
| 62. 9.20 (日) 患者、家族交流会87 | " " |
| 62. 9.25 (金) 石岡保健所、石岡市社会協議会訪問 | |

患者、家族交流会に参加して。 NO. 4

過日は大変お世話様になり有り難うございました。発病以来丸七年六ヶ月、お友達やいとこなどに誘われても、旅行等に行く気にもなれず、週二回の病院通いのほかは、家の中のお掃除と買い物位で、とかく家の中に引き籠もりがちの私でしたが、笠間の綿引さんと相談しながら、やっと出掛ける気になり思い切って参加して良かったと思って居ります。

本当に楽しい二日間でした、バスの運転手さんが私達患者を大切に最初から最後まで安全運転でユーモアを交えて、名所など説明をしてくれた事には非常に好感が持てました。何かとお忙しい中を計画を立て実行にうつす事は本当に大変だとは思いますが、年一度位は、あの様な事は大賛成ですので、今後共よろしく願います。

交流会スナップ写真



心やすらぐおふくろの味 **りりや旅館** 日光国立公園 塩原温泉

——パーキンソン病の概況——

〔症状〕

- ◎運動障害………震え：固縮：無動：姿勢反射の障害：すくみ：歩行困難：言語障害
- ◎自律神経症状…汗：よだれ：便秘
- ◎精神症状………幻覚：自発性の低下：うつ
- ◎痴呆………注意力の低下：無関心：無気力

〔症状の進行〕

発病当初、人によって違うが男の場合左手、女の場合右手の指の震えから始まり症状はゆっくり進み既述のような症状になり重度になると寝たきりになる。治す方法は今のところ無く、難病として指定されている。

〔研究の歴史〕

- 1817年…イギリスの内科医ジェームス・パーキンソン氏が発見。
- 1920年…脳の中の特定の部分の病変とわかる。
- 1935年…中脳の黒質に特異的な病変であることがわかった。
- 1948年…定位脳手術が行なわれるようになり手足の固縮（筋肉がかたくなる）をとり除くのに有効となった。
- 1950年…ドーパミンの代謝の低下が非常に重要であることが解りLドーパ治療が行なわれるようになった。この薬の出現によって寝たきりだった患者がおきられるようになったり社会復帰出来るようになったりして16年前から奇跡の薬として登場した。

〔Lドーパの副作用〕

悪心、おおと、食欲不振、めまい、不眠、不随意運動、幻覚等

◎プロモクリブチン

Lドーパを1/3から1/4に減らしてプロモクリブチンを併用するとジスキネジーはとれる。

支部役員 佃 国夫氏が文献から抜粋

事務局だより

日患協の署名と募金について

私たち全国パーキンソン病友の会は、日本患者、家族団体協議会に加盟しています。昨年6月15日に各地の難病団体や慢性疾患の団体で結成され「人間の尊厳、生命の尊厳が全てにわたり何よりも大切にされる社会」をめざして運動していくことを申し合わせました。

今、医療や福祉制度がだんだん厳しさを増してきています。今年も署名活動にとりくむことになりました。請願事項に記載されていることは、私たちの願いですし又、この署名にとりくむことは、患者、家族が1年365日の内、1日国政に参加する日なのです。集めた署名をもって代表が皆様の声を国会に届くよう請願にまいります。大変でしょうがよろしくご協力下さい。

〔ボールペン販売の利益〕

ボールペン販売の利益¥4,000 雑収入として会計に入金しました。ご協力有り難うございました。

〔第三回定期支部総会〕

- ◆日 時………昭和63年4月10日(日) 午前10時～午後4時 予定
- ◆場 所………水戸市千波町 県立県民福祉センター 予定

〔新入会員紹介〕

- ◆鶴田きく様 西茨城郡友部町
- ◆原田 久様 東茨城郡茨城町大字美野里町
- ◆小松 純様 東茨城郡小川町

一、病む夫なにを考え歩くのか

傘を片手に下うつわいて

目指すは細き川の橋

無言の中になにかを信じ

今日も出掛ける後身を

悲しく見送る 老の妻

二、惚れたはれたの歳ではないが

幸苦を共に四十年

はっと一息つかぬ間に

想わぬ病に取りつかれ

身動き出来ぬ此の体

支えてあげたい

老の妻

三、

私の半身なくともいい

梅雨に逢え梅雨に咲き

紫陽花の花のよう七変化

全快を信じ全快を祈るように

今日も出掛けるやつれ身を

唯々見送る 老の妻

昭和六十一年七月十日記

茨城県那珂郡大宮町

中村きみ子